

製品名: JAK2 (7H5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03344**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	JAK2
別名	JAK2; Tyrosine-protein kinase JAK2; Janus kinase 2; JAK-2
遺伝子 ID	3717
SwissProt ID	O60674
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

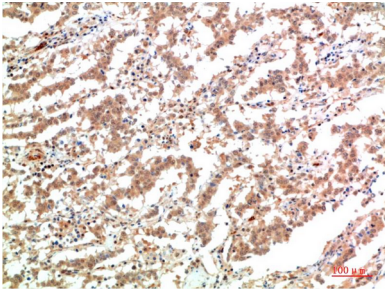
リン酸化 STAT はホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、核に移行して遺伝子転写を活性化します。例えば、赤血球生成中のエリスロポエチン (EPO) による細胞刺激は、JAK2 の自己リン酸化と活性化を引き起こし、細胞質ドメインがリン酸化されるエリスロポエ

チン受容体 (EPOR) と結合します。次に、STAT5 (STAT5A または STAT5B) が JAK2 にリクルートされ、リン酸化され、活性化されます。

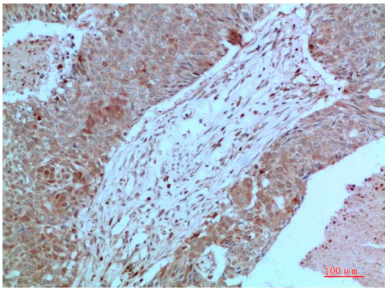
研究分野

細胞生物学

画像データ



JAK2 (7H5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



JAK2 (7H5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。